



東武鉄道における 高架化工事他の現状

- 竹ノ塚駅付近連続立体交差事業
- 清水公園～梅郷間連続立体交差事業
- とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業
- 春日部駅付近連続立体交差事業

Vol.14

東武スカイツリーライン竹ノ塚駅付近連続立体交差事業については、2021年度末の上下緩行線高架化と踏切除却を目指して高架橋工事を推進しています。

東武アーバンパークライン清水公園～梅郷間連続立体交差事業については、2009年に工事着手してから12年を経て、いよいよ3月28日(日)から高架区間の使用を開始しました。踏切がなくなり、周辺地域の活性化にも大きく寄与するものと期待されます。

また、とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業については、高架橋の杭工事に着手しています。

さらに、東武スカイツリーライン、東武アーバンパークライン春日部駅付近連続立体交差事業は埼玉県と施行協定を締結しました。

これらの連続立体交差事業は、それぞれ足立区、千葉県や墨田区、埼玉県が施行する都市計画事業であり、東武鉄道はこれに協力して工事を推進していきます。

いずれの工事も、ご利用になるお客様、沿線にお住いの皆様には何かとご不便、ご迷惑をお掛けしますが、安全最優先で早期完成を目指しておりますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。



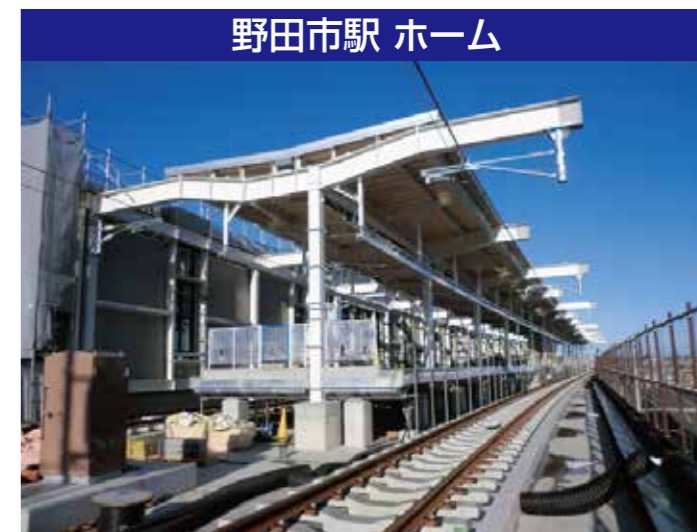
清水公園～梅郷間連続立体事業



東武野田線(東武アーバンパークライン)清水公園～梅郷間において、3月28日(日)の初列車より高架区間および愛宕駅新駅舎の使用を開始しました。これにより、高架区間内の全11箇所の踏切が除却され、交通渋滞の緩和、踏切事故の解消が図られます。

今後も2023年度の事業完了を目指して、野田市駅部の高架橋工事、駅舎工事等を進めてまいります。

今回新しくなった愛宕駅は『現代から未来へ』～生まれ変わる愛宕～をデザインコンセプトに、高瀬舟が帆を張って未来へと進んでいくイメージを表現しています。



竹ノ塚駅付近連続立体交差事業

2020年9月に上り急行線の高架化が完了しました。
引き続き2021年度末の踏切除却を目指して上下緩行線高架橋工事を進めてまいります。

第37号踏切道付近



撮影協力:吉田ビル

第37号踏切道(桁架設状況)



竹ノ塚駅部高架上



竹ノ塚駅部高架下



北千住方高架下(基礎工事状況)



春日部方高架下(基礎工事状況)



とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業

今年度は上り線高架橋の杭工事に着手しております。今後、高架橋毎に基礎を施工後に柱、床版が姿を現してきます。

既設高架橋解体工事



とうきょうスカイツリー駅付近 基礎杭工事



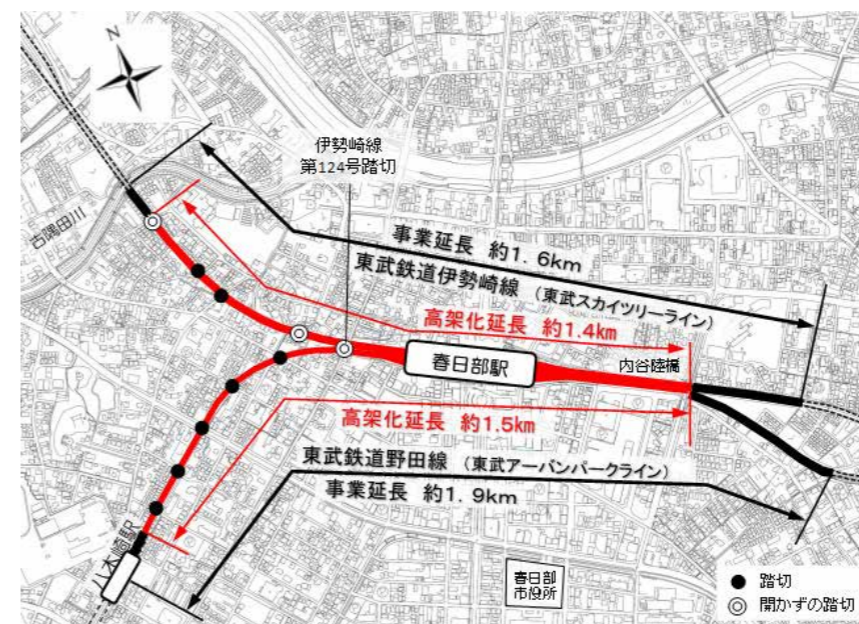
とうきょうスカイツリー駅部 工事用搬入路



とうきょうスカイツリー駅付近 レール運搬



春日部駅付近連続立体交差事業



東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)、東武野田線(東武アーバンパークライン)「春日部駅」付近の約3.5km区間の連続立体交差事業を進めております。
鉄道の高架化により10か所の踏切が除却され安全性が向上するほか、鉄道により分断されていた市街地を一体化することにより総合的なまちづくりを図るもので、2031年度の完成を目指します。